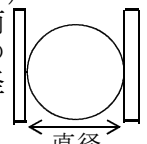
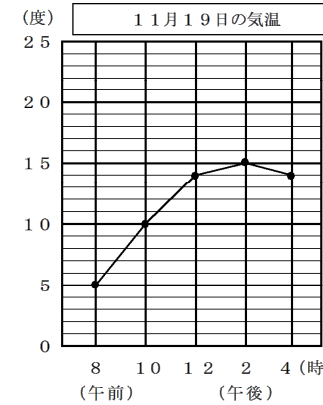


大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
20点	①	①	処理			2 8 1 2	5
	②	②	処理			1 3	5
	③	③	処理			1 0 7 あまり 7	5
	④	④	処理			4.8	5
15点	⑤	⑤	考え			9 5 7 6 8 4 2 1 0	5
	⑥	⑥	知識			1 兆 3 0 億, 10030000000000	5
	⑦	⑦	処理			6 0 0 0 億, 6000000000000	5
5点		⑧	知識	○ゆきさんかただしさんのどちらかを正しく書いている。	3	○ゆきさんもただしさんも両方正しく書いている。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 5px;">{</div> <div>           ゆきさん                ㊤を(4)まいと㊦を(2)まい            ただしさん                (㊦)を(6)まい         </div> </div>	5
15点	⑨	⑨	知識			2 km 3 0 0 m	5
	⑩	⑩	処理	○式または答えのいずれかを正しく書いている。	3	○式と答えを正しく書いている。 式 $2.3 - 1.5 = 0.8$  <div style="text-align: right;"> <u>答え    0.8 km</u> </div>	5
	⑪	⑪	関心	○身の回りのかさ，長さ，重さなどについて数値と単位を正しく1つ書いている。 (単位が分からないものは数値のみで可)	3	○身の回りのかさ，長さ，重さなどについて数値と単位を正しく2つ書いている。 (単位が分からないものは数値のみで可)  例)・体重は，2 6.5 kg です。 ・ペットボトルに1.5 lのジュースが入っています。 ・ぼくの身長は1 3 8.5 cm です。 (実際とあまりに離れた数値を書いているものは，不可) ※同じ種類のものだけを書いているものは，1つとみなす。 例)・ぼくの体重は○ kg です。 ・～君の体重は○ kg です。	5
10点	⑫	⑫	考え	○正答を1つのみ書いている。	3	え，お	5
				○正答を2つ書いているが，誤答を1つ書いている。 (誤答が2つ以上ある場合は，正答があっても0点)	3		
	⑬	⑬	考え	( え または お ) が正三角形になるわけ  ○三角形の3つの辺の長さが等しくなることの説明が不十分である。  例) 三角形の3つの辺は，円の半径となっているから。 例) 円の半径の長さはどれも同じだから。  <div style="text-align: right;">など</div>	3	( え または お ) が正三角形になるわけ  ○次の2つのことを述べて，三角形の3つの辺の長さが等しいので正三角形になることを説明している。  ・同じ大きさの円の半径の長さはどれも同じこと。 ・円の半径をつかった三角形の3つの辺の長さが等しいこと。  例) 三角形の3つの辺がどれも円の半径になっている。円の半径はどれも同じ4 cm で，三角形の3つの辺の長さは等しいから，正三角形になっている。  <div style="text-align: right;">など</div>	5

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
6 10点	(1)	⑭	処理	○答えを正しく書いている。 ----- ○式を正しく書いている。	2 3	○式と答えを正しく書いている。 式 $1200 - 320 = 880$ または 式 $1\text{ kg } 200\text{ g} - 320\text{ g} = 880\text{ g}$ 答え <u><math>880\text{ g}</math></u>	5
	(2)	⑮	考え	○式だけを正しく書いている。 例) $880 \div 2$ ----- ○式と計算の答えは正しく書いているが、文章題の答えを間違っている。 例) $880 \div 2 = 440$ 答え <u><math>(440)</math> こ集めれば、 今月より重くなる。</u>	3 4	○式と計算の答えと文章題の答えを正しく書いている。 例) $880 \div 2 = 440$ $(440 + 1 = 441)$  答え <u><math>(441)</math> こ集めれば、 今月より重くなる。</u>	5
7 10点	(1)	⑯	関心	○道具のみを書いている。 例) 箱を使います。 ----- ○道具とその使い方を書いているが具体性に欠ける。 例) ボールの両端に箱などを置いて調べます。 例) ボールを箱に入れて調べます。	1 3	○ボールの直径の求め方を言葉や図を使って正しく説明している。 (直径を測る場所が正しく示してあれば、図のみでも可) 例) 図のようにボールの両端に箱などを置きその間の長さをはかり直径を調べます。  例) ボール3こを机の上に置き、その上に板を置きます。この板と机の間の長さが直径になるので、そこをはかります。	5
	(2)	⑰	考え	○「入らない」を丸で囲み、理由に式を書いていないが、横には2こまでしか入らないことを書いている。 例) 縦には2こ入るが、横には3こは入らない。 ----- ○「入らない」を丸で囲み、理由に正しい式のみを書いている。 例) $16 \div 8 = 2$ $23 \div 8 = 2 \dots 7$	3 3	○「入らない」を○で囲み、理由も言葉や式や図を使って、縦には2こ入るが、横には2こまでしか入らないことを説明している。 例) ボールの直径が $8\text{ cm}$ だから たて $16 \div 8 = 2$ たてには、2こ入る。 横 $23 \div 8 = 2 \dots 7$ 横には、2こは入るが3こは入らない。 だから、6こは入らない。	5
8 15点	(1)	⑱	処理	○1つの時刻について正しくかいている。 ----- ○2つの時刻について正しくかいている。	2 3	○グラフの続きを3つの時刻について、すべて正しくかいている。 	5
	(2)	⑲	知識	○分かりやすくなったところを簡単に書いている。 例) 見やすい、どこが一番大きいか分かりやすいなど	2	○「変化」「変わり方」をキーワードとして書いている。 例) 変化の様子がよくわかる。	5
	(3)	⑳	考え	○目盛りの大きさのことだけを、説明している。 例) 19日は5めもりで5度、22日は5めもりで1度と1めもりの大きさがちがうので、気温の変化の大きさを比べることはできないから。 例) 22日の方が1めもりの大きさが小さいから。 例) 19日の方が1めもりの大きさが大きいから。 など	3	○目盛りの大きさや変化の数量をもとに、説明している。 例) 8時から10時まで、22日は2度上がっているの対して、19日は5度上がっている。 だから19日の方が気温の変化が大きいから。 など	5